



始業式の話「笑顔いっぱい」のために

本校の学校教育目標は「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」です。

この教育目標を具体的に子供たちに呼び掛けて意識させるためにあるのが、「明るいあいさつ、笑顔いっぱい、夢いっぱい、郡山小」というスローガンです。

今年度の1学期始業式では、このスローガンを基にして、全校児童に向けて、私が校長としてどんな学校を目指し、どのような子供になってほしいと思っているのか（「学校経営方針」）をお話しました。内容は以下の通りです。

郡山小学校のスローガンは、学校便りやホームページにも最初にのっている「明るいあいさつ・笑顔いっぱい・夢いっぱい・郡山小」です。このスローガンは、「挨拶・笑顔・夢」という3つからできています。今日はその中から、私が皆さんに特に伝えたいと思っている「笑顔」についてだけお話しします。

さて皆さん。「笑顔」はすてきですが、笑顔になれと言われても、嬉しくもない、楽しくもないのに笑えませんよね。笑顔になりましょう！なんて、ただ目標にされても、心配なことがある人にとっては無理なことですし、無理矢理笑顔になれと言われても、ただ苦しいだけです。このように、スローガンの中にある「笑顔」自体は、実は目標にはならないのですが、笑顔でいることはとても大切なことですので、そのためにどうすればいいのか、それをしっかり考えて実行することが大切だという意味で、学校のスローガンの中に入っているのです。

それでは私から、皆さんが笑顔になるために大切なことを、今日は3つだけお話ししましょう。

1つ目は、間違ふことや失敗することをこわがらずに、やってみることです。学校は、できないことができるようになるために勉強するところです。ですから、できないことや分からないことも、間違いや失敗も当たり前のことなのです。それに、間違いや失敗の中には、できるようになるヒントがたくさん詰まっています。できないことや難しいことに、失敗を怖がらず挑戦し、失敗の中に詰まっているヒントをたくさん手に入れて、「できなかったことが少しでもできるようになった」と笑顔輝かせてほしいと思っています。

2つ目は、これが一番大切です。お友達やまわりの人を笑顔にする工夫や我慢をすることです。「あれ？自分の笑顔じゃなくて他の人？」「どうして我慢するの？」って思った人もいそうですね。でも他の人の役に立ったり喜ばせたりするのはうれしいことだって知っているでしょう。お友達を笑顔にすることは、笑顔の輪を広げて、あなたの笑顔も輝かせることになるのです。一人一人が自分のことだけでなく相手のことを考えると、みんなが少しずつ我慢しなければならぬことも出てきます。そのように、優しい気持ちで周りの人の笑顔輝かせる工夫や我慢をすることを「思いやり」といいます。思いやりを持って、笑顔の輪を広げてほしいと思っています。

3つ目は、皆さんが「どうしたらよいだろう」と迷ったときのことについてお話しします。これはやってもいいかな？やめたほうがいいのか？と迷ったときは、大切なおうちの人の顔を思い浮かべてください。これからやろうとしていること、迷っていることを、そのおうちの人が知ったらどう思うかな、嬉しいかな、それとも悲しいかな、と考えてみてください。郡山小学校の子供たちは、おうちの人を悲しませることをしてはいけません。にっこり笑ってもらえることを進んでみましょう。

今日の午後入学してくる1年生にも、同じお話をします。これから1年間、郡山小学校の子供たち全員が、お互いに思いやりを持って、笑顔で過ごしていけるように一緒に頑張っていきましょう。私自身、校長として、皆さんが笑顔で過ごせる学校を作っていくために、職員と力を合わせて努力していきます。

間もなく夏休みを迎える節目にあたって、改めて子供たちと一緒に御確認いただけたら幸いです。

..... 切り取り線

※学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など
2021年7月16日 ()年 ()組 児童氏名